


登録販売者試験対策講座

【第3章-1】

主な医薬品とその作用

株式会社 東京マキア



自律神経系の薬の概要

体を緊張方向に持っていく薬

- 交感神経刺激成分 = アドレナリン作動成分
- 副交感神経遮断成分 = 抗コリン成分


フソイドエフェドリン

ブチルスコポラミン

体を休息方向に持っていく薬

- 交感神経遮断成分 = 抗アドレナリン成分
- 副交感神経刺激成分 = コリン作動成分

ネオスチグミン：漫画参照



交感神経刺激薬：成分名の語尾にリンが付く

体を緊張方向に持っていく薬

- プソイドエフェドリン塩酸塩：鼻炎薬
- フェニレリン塩酸塩：鼻炎薬

戦争の最中に鼻詰まりは困る→鼻の血管が収縮し鼻の通りがよくなる

- メチルエフェドリン塩酸塩：鎮咳薬、鼻炎薬

戦争の最中に酸素が足りなくなると困る→気管支が拡張し呼吸を助ける

- ナファゾリン塩酸塩：点眼薬、点鼻薬
- テトラヒドロゾリン塩酸塩：点眼薬、点鼻薬

戦争の最中に鼻詰まりは困る→鼻の血管が収縮し鼻の通りがよくなる

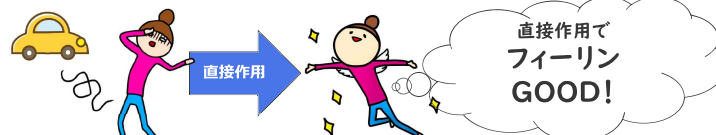
<プソイドエフェドリンとセレギリンとの飲み合わせ>

セレギリンは、モノアミン酸化酵素阻害剤の一種で、併用するとプソイドエフェドリンの代謝が妨げられて副作用が現れやすくなる。

ジプロフィリン：似て非なるので注意！

- キサンチン誘導体と呼ばれる。カフェインもその一種。
- 「～フィリン」と付く。他にテオフィリンなどもある。
- 効能は以下の2通りである。
 - ① 気管支拡張：気管支平滑筋に直接作用する。
 - ② 酔い止め：中枢興奮作用。てんかんの人は要相談である。

※「ジプロフィリンは交感神経系を介して作用する。」はひっかけ問題。



副交感神経遮断成分 = 抗コリン成分

体を緊張方向に持っていく薬

- ベラドンナ総アルカロイド：鼻炎薬
- ヨウ化イソプロパミド：鼻炎薬
- スコポラミン臭化水素酸塩水和物：酔い止め

中枢：自律神経系の混乱を軽減、末梢：消化管の緊張低下作用

- ブチルスコポラミン臭化物：胃腸薬

鎮痛鎮痙作用（胃腸の過剰な動きを抑える）

- ロートエキス：胃腸薬

鎮痛鎮痙作用、胃液分泌抑制作用

- ピレンゼピン塩酸塩：M1受容体遮断薬（ガスツール）

胃液分泌抑制作用

他の抗コリン薬のような消化管運動抑制作用はほとんどない。

抗コリン成分：覚え方

マドンナ 妖怪 ブスとなり

アウトローでもびんびんしてる

3年後

超元気！



副作用 ※交感神経優位の状態を思い浮かべる！

「体液が出なくなる」を思い出して！

交感神経刺激成分（アドレナリン作動成分）の副作用

- 高血圧の人：血圧の上昇の恐れ
- 心臓病の人：心機能亢進の恐れ
- 前立腺肥大症の人：尿が出にくくなるため
- 甲状腺疾患の人：病態悪化の恐れあり
- 糖尿病の人：血糖値上昇（グリコーゲン分解のため）の恐れ

副交感神経遮断成分（抗コリン成分）の副作用

- 心臓病の悪化：心臓の興奮…鼓動が速くなる
- 排尿障害：排尿筋（膀胱平滑筋）の弛緩…尿が出にくくなる
- 緑内障の悪化：眼圧上昇…房水を排出できなくなる
- 口の渇き：腺分泌の抑制…唾液が少なくなる